

東白杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年4月 東白杵農林振興局
(東白杵南部農業改良普及センター)



東白杵南部農業改良普及センター
ホームページ

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2、3)
 - 1 【全域】 水稻奨励品種決定調査現地試験ほの設置
 - 2 【美郷町】 農業再生協議会総会が開催
 - 3 【日向市】 JA日向地区本部マンゴー部会総会が開催
 - 4 【門川町】 門川町蔬菜園芸振興会総会が開催
 - 5 【椎葉村】 第50回椎葉村和牛改良組合総会が開催

- II 主な普及指導活動等の取組
 - 1 地域プランに基づく普及活動 (P 4、5)
 - 1 【諸塚村】 農地集積集約に関する打ち合わせを実施 (施策5:地域組織や基盤づくり)
 - 2 【美郷町】 金柑部会が産地一体となった経営承継を協議 (施策3:果樹・花きの産地体制づくり)
 - 3 【門川町】 青年等就農計画認定審査会が開催 (施策2:園芸産地の確立)
 - 4 【日向市・美郷町】 2名の就農希望者に対応 (施策2,3)
 - 5 【全域】 和牛コンソーシアムによる農家の定期巡回 (施策4:肉用牛産地の維持)
 - 6 【美郷町】 美郷町さいごう完熟金柑部会への全戸巡回 (施策3:果樹・花きの産地体制づくり)

 - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P 6)
 - 1 【日向市・美郷町】 JAみやざき日向地区本部シキミ部会・美郷町シキミ部会合同役員会で振興対策を協議
 - 2 【椎葉村】 椎葉村園芸部会 ほうれんそう専門部ほ場巡回 (矢立団地)
 - 3 【椎葉村】 令和8年度椎葉村園芸部会 総会が開催

* 地域プラン、地域課題一覧について

地域プラン（第八次宮崎県農業・農村振興長期計画における東白杵地域の具体的な取組）	
施策1	土地利用型品目を活用した収益性の高い水田農業の確立
施策2	持続性と生産性の両立を目指す園芸産地の確立（ミニトマト、きゅうり）
施策3	次世代に繋げる果樹・花きの産地体制づくり（きんかん）
施策4	生産基盤の強化による肉用牛産地の維持
施策5	地域の資源と農業を支える組織や基盤づくり
地域課題一覧(地域プラン施策以外の普及センター独自の取組)	
1	へべす大規模経営体の育成
2	スイートピーの生産性向上
3	中山間地域における複合園芸品目の生産性向上（くり、しきみ、ほおずき）
4	夏秋ミニトマトの生産性向上
5	椎葉村ならではの魅力あふれる農業の創出(園芸品目)

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【全域】 水稻奨励品種決定調査現地試験ほの設置

3日、日向市庄手で生産者の協力のもと、関係者4名が参加し、水稻奨励品種決定調査現地試験ほの田植えを行いました。

この試験は、宮崎県の奨励品種を決定するために、現地適応性を検証するもので、昨年引き続き加工用向けの新系統「宮崎57号」と対照品種として、「宮崎52号」、「夏の笑み」を供試しました。

今後は、生育・収量調査を行い、現地の適応性を判定するとともに、調査結果を関係機関団体へ共有していきます。



【水稻奨励品種決定調査
現地試験ほ設置】

2 【美郷町】 農業再生協議会総会が開催

14日、美郷町役場で、関係者9名が出席し、美郷町農業再生協議会総会が開催されました。

会議では7年度の経営所得安定対策事業の推進等にかかる取組実績の確認と令和8年度の計画が協議され、承認されました。

また、会議後の意見交換で、和牛繁殖経営体が高齢等により7戸減少し、R8年度のWCS作付けが減少見込みであると報告があり、地域の水田営農継続の懸念材料として共有されました。

3 【日向市】 JA日向地区本部マンゴー部会総会が開催

10日、JA日向地区本部マンゴー部会総会が開催され、生産者4名、関係者13名が出席しました。令和7年度の活動実績や令和8年度の活動計画、産地戦略ビジョン等の議事は全て承認されました。

今回の総会後は、日向市長、市議との意見交換が行われ、マンゴー部会員との活発な意見交換が行われました。

普及センターからは、広域指導体制の説明と、マンゴーの時期別管理、越冬果樹カメムシ類の多発生による果樹被害への注意喚起を行いました。



【マンゴー部会総会】

4 【門川町】 門川町蔬菜園芸振興会総会が開催

23日、JA門川支店で生産者11名、関係者10名が出席し、第65回門川町蔬菜園芸振興会総会が開催されました。

会では、令和7年度の活動と収支の実績及び令和8年度の計画と役員改選等の協議が行われました。今年度も栽培技術に関する研修会やコスト削減、難防除害虫の対策取組が計画されています。

門川町の野菜花きの発展を目指して、関係者と連携して支援していきます。



【門川町蔬菜園芸振興会総会】

5 【椎葉村】第50回椎葉村和牛改良組合総会が開催

24日、第50回椎葉村和牛改良組合総会が開催され、組合員および関係者が出席しました。

令和7年度成績優秀者の表彰式、東臼杵家畜市場の販売情勢報告、令和7年度実績・令和8年度計画の承認、組合費増額の提案が行われました。

また、部会員からは県下市場の集約に関する質問や、インボイスに関する質問が行われ、活気のある総会となりました。



【椎葉村和牛改良組合総会】

II 主な普及指導活動等の取組

1 地域プランに基づく普及活動

1 【諸塚村】農地集積集約に関する打ち合わせを実施

23日に、諸塚村で関係者9名を参集し、農地集積集約に関する打合せを行いました。
諸塚村は、中山間地域で農地が狭小・分散し非常に厳しい営農環境にあります。地域の農地を守るために耕作道の整備や、耕作者から委託を受け作業を行う受託者が、受託しやすい環境づくりに取り組んでいくとの報告がありました。

今後も、中山間地のモデルとなるよう、関係者と連携し、支援を実施していきます。

2 【美郷町】金柑部会が産地一体となった経営承継を協議

23日、JA西郷支店で、美郷町さいごう完熟金柑部会役員、関係者の計12人が出席して役員会が開催されました。

会では、本年4月から部会員の園地で新たに栽培を開始した就農予定者2名の対応、産地一体となった経営承継について協議を行い、部会と関係者で連携を図り、産地一体となって取り組む方向となりました。

今後は、5月の役員会で議論を重ねた上で6月の部会総会で協議する予定です。



【金柑部会役員会】

3 【門川町】青年等就農計画認定審査会が開催

22日、門川町役場で、就農希望者と関係者8名が出席し、青年等就農計画認定審査会が開催されました。

審査は、就農希望者本人が「青年等就農計画」を説明し、関係者からの質疑に応答する形式で行われ、計画は適当と認められ、認定されました。

今後は、計画の実現に向けて継続的な支援を行っていきます。

4 【日向市・美郷町】2名の就農希望者に対応

4月は、日向市で1件の就農検討会、美郷町で1件の就農相談があり、関係者と連携して対応しました。

検討会では、研修生の就農地や就農に向けたスケジュールについて協議を行いました。

就農相談では、後継者の承継に関する質問があり、農地や施設等の不動産と機械等の動産の取扱いの違いについて概要を説明し、専門家の支援が受けられる経営相談所の活用を勧めました。

今後も関係機関と連携し、就農希望者の状況に応じたきめ細かな支援に努めます。

5 【全域】和牛コンソーシアムによる農家の定期巡回

20日、美郷町北郷で生産者1名、関係者3名が参加し、和牛コンソーシアムによる若手繁殖農家の定期巡回を実施しました。

和牛コンソーシアムとは、JA・NOSAI・県が一体となって多面的に指導を行い、改善を図る事業です。

今回の巡回では、コスト削減のため出荷日齢の短縮を目指している生産者に、体測により発育が停滞しているステージがないかを確認しました。

今後は、体測巡回やNOSAI獣医師による繁殖巡回、飼料・栄養管理や牛舎環境の改善を関係者で連携して支援していきます。



【子牛発育改善を目指した
体測調査】

6 【美郷町】美郷町さいごう完熟金柑部会への全戸巡回

20日と27日に関係者5名が参加して、美郷町さいごう完熟金柑部会の全戸巡回を行い、生育状況や剪定作業の進捗を確認し、今後の管理について個別に説明を行いました。

今回は役員4名、就農予定者1名、地域おこし協力隊1名も同行し、活発な意見交換が行われました。特に役員であるベテラン生産者の視点から管理等の助言がなされ、園主の生産者や就農予定者の今後の管理の参考となり、産地一体となった取組につながる動きとなりました。



【きんかん全戸巡回】

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 【日向市・美郷町】JAみやざき日向地区本部シキミ部会・美郷町シキミ部会 合同役員会で振興対策を協議

22日、JA西郷支店でシキミ部会の役員会が行われ、役員13名、関係者11名が出席し、春彼岸の出荷実績報告及び総会日程の協議が行われました。部会ではR7から振興対策班を立ち上げており、人材確保、販売力強化、生産対策を柱に今年度取り組む計画について共有しました。

役員会後に振興対策班員である支部長と関係者が、園地承継の準備段階として園地台帳整備の優先順位や品質維持のチェックリストの作成など役割分担を行いました。

2 【椎葉村】椎葉村園芸部会 ほうれんそう専門部ほ場巡回（矢立団地）

14日、椎葉村農業技術員会で矢立団地ほうれんそうほ場を巡回しました。

産地ビジョンに基づき、共同選果場の選果時期を6月に合わせて収益効果を高めるため、矢立団地の生産者と技術員会でハウスの準備状況や品種、収穫日を見越した播種予定日を確認し、専門部員の意識向上に役立てます。

早いハウスは土壌消毒・播種準備を終えており、4月末に播種し、6月頭に共同選果を開始するための計画を技術員・生産者と確認しました。



【技術員による
ほうれんそう専門部
巡回（矢立団地）】

3 【椎葉村】令和8年度椎葉村園芸部会 総会が開催

21日、椎葉村園芸部会 総会が開催され、部会員および関係者が出席しました。

令和7年度成績優秀者の表彰式、北九州市場の販売情勢報告、令和7年度実績と令和8年度計画の承認が行われました。

部会長からは「園地巡回の強化による収量維持・向上」、市場担当者からは「高温対策」「資材費高騰」の課題意識の共有が行われ、部会員はしっかり耳を傾けていました。



【椎葉村園芸部会総会】